

平成 19 年 6 月 7 日

池袋駅の放置自転車台数1割超減少！対策の成果実りつつある！！

～平成 18 年度内放置自転車台数ワーストランキング発表～

本日、東京都青少年・治安対策本部は、昨年秋に実施した「駅周辺における放置自転車等の実態調査」の集計結果を発表した。本区においては、池袋駅が一昨年から 279 台減の 1,807 台、大塚駅が 172 台減の 1,756 台となり、両駅とも平成 15 年から続いていた都内ワースト 1 位・2 位から、それぞれ 2 位・3 位へと順位を下げた。平成 18 年 6 月に策定した「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」に基づく取り組みが少しずつ着実に成果を挙げている。

【現況】

区は、池袋駅周辺では、これまでに駅周辺に 4 箇所の有料駐輪施設を整備するとともに、地域の協力を得たキャンペーン等の啓発活動や、放置自転車の即日撤去を継続してきた。そして 18 年度には、区の協力要請により、民間駐輪場の 370 台分の収容台数増や、撤去時間帯の工夫や回数増による放置自転車の撤去活動の強化を行った。

また、有料駐輪施設がない大塚駅周辺でも、条例に基づく警告 7 日後の放置自転車の撤去を実施している。

【今後の対策】

区では、上記「総合計画」に基づき、今後 10 年間の区内全体の駐輪場整備目標を 6,500 台としており、4,000 台強については鉄道事業者からの用地提供等の協力により、残りについては区有地の活用や路上駐輪施設の設置により、実現を目指している。

このうち、池袋駅周辺では概ね 1,800 台の整備を見込んでいる。上記の総合計画に基づき、すでに本年 4 月には J R 東日本から建物地階の提供を受け収容台数 160 台の「ウイロード自転車駐車場」をオープンさせた。今後は、東京メトロや東武鉄道からの用地提供、さらには歩道拡幅等に伴う路上駐輪施設の設置等により、目標達成を目指していく。

大塚駅周辺においても、J R 東日本から南口広場地下空間の提供を受け、収容台数 800 台以上の駐輪場を計画しており、今年度中には実施設計に入る予定となっている。さらに同駅では、J R による駅改良に伴う駐輪場の整備、区の既存無料置場の再編も予定されており、総合計画では池袋と同じ概ね計 1,800 台分の整備を目指している。また、駐輪場開設と同時に放置禁止区域の指定を行い、放置自転車の即日撤去活動を行っていく予定である。

なお、豊島区が全国に先駆けて導入した「放置自転車等対策推進税」は、総合計画の策定によって、放置自転車問題解決の仕組みができたことにより、平成 18 年 7 月に廃止された。

駅	調査実施年	14年	15年	16年	17年	18年
池袋	都内ワーストランキング	2位	1位	1位	1位	2位
	放置自転車数	2,431	2,294	2,217	2,086	1,807
	撤去台数(年間)	20,525	23,322	23,315	21,102	30,200
大塚	都内ワーストランキング	5位	2位	2位	2位	3位
	放置自転車数	2,141	1,930	1,951	1,928	1,756
	撤去台数(年間)	—	—	—	677	564

問合せ 交通安全課長